

しじゅうから



新緑がまぶしい季節、鳥たちの恋の季節は終わり、本格的な子育てシーズンに入りました。気づいていらっしゃる方もいるかもしれませんが、小鳥の森には園内のあちこちに巣箱がかかっています。かける理由はいくつかあるのですが、今回は割愛します。この大きさの巣箱を使う鳥、実はたったの2種類しかいません。その鳥はシジュウカラとヤマガラです。小鳥の森

では昨年(2025年)の3月中旬～7月中旬に、園内にかけた17箱の巣箱調査を実施しました。大まかに、営巣～巣立ちまでの期間が早いか遅いで一期、二期と分けました。このデータと調査結果をまとめたものがこちらです。そのうちシジュウカラの方が使用率が高かったため、今回はシジュウカラについてご紹介します。



巣作り
 一期 二期
 営巣期間 13日 3日

※巣箱総数：17箱
 17箱中11箱(使用率65%)、使用巣箱11箱中7箱で繁殖成功し、成功率は64%であった。

シジュウカラの繁殖期は5月～7月、ヤマガラの繁殖期は4月～6月です。

産卵
 一期 二期
 平均 9個 7個

平均産卵数は二期の方が若干少ない。文献によると、シジュウカラの産卵数は7～10個なので、平均的といえる。



抱卵
 一期 二期
 日数 平均 14日 14日

抱卵(卵を温めること)日数にも、一期と二期では差は見られなかった。

ヒナ
 一期 二期
 育雛平均 14日 17.5日

育雛日数は、一期の方が若干短い。育雛日数は18～20日なので、小鳥の森は巣立ちが早いようだ。



巣立ち
 成功率(%) 一期 二期
 20 100

成功率は差異があり、一期はヘビ捕食が3箱、未孵化が1箱あった。なお、捕食が前半に多いのはヘビの繁殖期が5～6月であることと重なる。



結果を見ると、巣作り以外は時期にほぼ差異はみられなかったが、小鳥の森では育雛期間が若干短めでした。これがなぜなのかは、さらなる調査の継続が必要ですね。

イベントあるよ

- バードウィーク特別企画
 「小鳥の森バードフェスティバル」
 日時：5月10日(日) 9:00～11:30
 場所：小鳥の森ネイチャーセンター
 内容：バードウォッチング(要予約)、巣箱作り(500円/個 要予約)、缶バッジ、ランプシェード(各100円/個)など
- 初夏のバードウォッチング
 夏鳥をはじめとする野鳥の観察会
 日時：5月14日(木) 9:00～11:00
 対象：18歳以上
 定員：10名
 持ち物：双眼鏡(無料貸し出し有り)
- カメラを持って森歩き
 福島キャノン(株)との協同事業
 日時：5月30日(土) 9:00～12:00
 対象：小学生と保護者
 定員：30名
 参加費：無料
 ※いずれも電話にてお申込みください(5/1～受付開始)

参考文献：黒田長久監修他、巣と卵図鑑、1999年発行

たからもの 森の宝物探し

小鳥の森で宝物（自然の中の生き物）を見つけることができたならオリジナル缶バッジをプレゼントしています。その日に見つける宝物が何かをネイチャーセンターで確認して、写真を撮ってレンジャーに見せるとミッションクリア！

今月の生き物はコレ

センダイムシクイ (ムシクイ科)

森の中から「チヨチヨビー」と聞こえてきたら、それはセンダイムシクイが近くにいる証拠です。オリーブ色の体色に白いお腹、クリツとしたつぶらな瞳の上は、きりっとした黄色いまゆげがあり、頭頂部にははっきりとした頭中央線が特徴の鳥です。変わった名前の鳥ですが、漢字では「仙台虫喰」と表します。宮城県の仙台市と同じ漢字ですね。諸説ありますが、歌舞伎の演目に「伽羅仙台萩(めいぼくせんだいはぎ)」という伊達家のお家騒動を題材にした物語があり、そこに登場する、幼い君主「鶴千代君(つるちよぎみ)」にちなんで、この名前になったそうです。名前のムシクイはその名の通り、昆虫類や、クモ類を採食するから、そう呼ばれています。

ムシクイ科の仲間は、一見ただけではどの鳥も特徴が似ているため、判別が付きにくいですが、さえずりを頼りにすると比較的判別しやすいです。その中でも、センダイムシクイはさえずりもさることながら、見た目が一番明るい黄緑色をしているので、分かりやすいです。大きさは、スズメよりもやや小さい13cmぐらいです。

小鳥の森では、例年4月の中旬頃にやってきます。センダイムシクイの他にも様々な夏鳥がやってきていますので、森林浴をしながら、探してみたいはいかがでしょう？

しじゅっぴークイズ

サンコウチョウの名前の由来はどっち？

- A：鳴き声が月日星（三光）だから
- B：渡ってくる時期が参考になるから



しじゅっぴーのつぶやき

ボクはツピイツピッと
鳴いてるよ！



小鳥の森的夏の3鳴鳥

若葉が萌える良い季節となりました。散策をするには最高の時期なのですが、実はバードウォッチングをするにはあまり向かない季節なんです。なぜなら、葉っぱが生い茂ると、鳥たちが葉っぱの陰に隠れてしまい、鳴き声は聞こえても、姿を見ることはなかなか難しくなるからです。そこで、今回は鳴き声だけでも聞く価値がある、小鳥の森の夏の3鳴鳥をご紹介します。

1位

サンコウチョウ

誰が何といっても一番の分かりやすさ！
暗い杉林の中から「ギツフィフイホイホイホイ」と鳴き声が聞こえてきます。「ホイ」の回数は個体によって違うようですが、小鳥の森に昨年渡ってきた個体の中には、とても早口でせっかちな鳴き方をしている鳥がいました。



2位

キビタキ

明るい林の上部から大声で「キョロツキョロツキーココ」など聞こえる。キビタキのような高音ではないが、ファンが多い。

森の木々の高いところから、ピッコロのような音色で「ピリフィリリ」などと、複雑なさえずりが聞こえてきます。



3位

クログミ

いかがでしたか？皆さんが知っている鳥はランクインしていただいでしょうか。これからの季節、是非、聞くバードウォッチングも楽しんでみてください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター）

＜入場無料＞休館日：毎週月曜日

（祝祭日の時はその翌日）

開館時間：午前8時30分～午後5時

最新情報はこちら



Instagram



旧Twitter



ホームページ

